

第 33 回日本ハンドボールリーグ盛岡大会(最終節)の見所

「大崎電気 宮崎大輔選手が 北國銀行 上町史織選手が

トヨタ車体 門山哲也選手が HC名古屋 佐藤由紀恵選手が

日本ハンドボールリーグが盛岡にやってくる！」

<男子>

ソウルオリンピック五輪選手として活躍した岩手(盛岡商業高校)出身の首藤信一監督率いる大崎電気は、リーグの前哨戦となる全日本実業団選手権で4年ぶりの優勝を果たし、勢いに乗って開幕スタートした。スーパースター宮崎大輔ばかりでなく、DFの柱・永島、キャプテン猪妻ら、欠かせない主役の充実ぶりはもちろん、中堅の前田、太田、酒井、若手の岩永、内田らの躍動、充実ぶりも際立つ。日本代表サウスポー豊田が海外移籍のためにチームを離れたが、要所での切り札的存在となる岩本、中川、東の力もミックスさせながら、リーグ3連覇・全日本総合選手権優勝と円熟期にある首位の大同特殊鋼に対してプレーオフでの逆転優勝、4年ぶりの王座奪還を目指す。一方、トヨタ車体は前々回、前回リーグと2年続けてプレーオフ進出。頂点への距離を着実に縮めている。酒巻テクニカルディレクター(日本代表監督)を中心に推し進めてきた、世界へとつながるフィジカルの強さを活かした高速ハンドボールを徹底追求して臨む。エース門山、世界舞台でも力を実証した高智の日本代表コンビをはじめ、いっそうパワーアップした選手たちの力強いパフォーマンスは必見。これまで、大同が勝ち点26で首位を快走。2位以下は大崎、トヨタ車体、湧永製薬、トヨタ紡織九州が僅差でしのぎを削っており、4枚のプレーオフ切符をめぐる争いは最後まで予断を許さない。リーグ終盤(下記)、直接対決では激しい火花を散らせる戦いが必至。

16週【2/7:浦安市】 大崎 - 大同戦・・・「屈辱の全日本総合のリベンジ、終盤の優勝に絡むか」

17週【2/15 小林市】 トヨタ紡織 - トヨタ車体 【2/21 広島東区】 湧永 - トヨタ紡織

19週(最終週)【2/28 盛岡市】 大崎 - トヨタ車体 【2/28 枇杷島】 大同 - 湧永

<女子>

前回、5年ぶりにプレーオフに進み復活を印象づけた北國銀行は、上昇ムードを膨らませて今シーズン、全日本実業団選手権で、前回、国内タイトルを独占したオムロンを下し、実に15年ぶりとなる優勝を飾り好スタートを切った。その後も国体で優勝、全日本総合決勝では惜しくも第2延長で1点差負けを喫したものの好調の波をキープしている。現在、リーグ得点ランキング1位の上町(上田中 盛岡二高出身)、日本代表のGK田代とDFの要 小野澤という攻守の切り札を軸に、チーム一丸となって復活劇を目指す。上位のオムロン、北國銀行、ソニーセミコンダクタ九州の3チームがプレーオフへのアドバンテージを得る「1位奪取」にしのぎを削る。17週【2/15 小林市】ソニーVSオムロン戦(1勝1敗同士)に注目、18週【2/21 金沢市】北國 - オムロンの直接対決を制して、プレーオフに弾みをつけたいところ。一方、HC名古屋は、キャプテンで守護神のGK近藤、左腕ヒッター佐藤(秋田県・大曲農業高出身)、期待の新戦力・高橋(瑛)らを中心に巻き返しを期すが、今シーズンも今のところ全敗。ミドル・ジュニアユース・シニア・マスターズの各カテゴリーで幅広い年齢層がハンドボールを楽しむ環境作りと指導運営に携わりながら、NHKスポーツ教室の指導でもおなじみの田中俊行監督のベンチワーク、サポーターの熱い声援を背に1勝目指してベストを尽くす、ポジティブにチャレンジしていくチームカラーにも注目を。